

1

生きがいを持って働ける職場環境づくり

職員は溪仁会グループの活動を支える、最も重要なステークホルダーです。
一人ひとりが働くことに生きがいとやりがいを感じ、充実した人生を送ることができるように、
溪仁会グループでは職員の個性と人権を尊重し、
誰もが安心して働くことのできる職場環境づくりを進めています。

男性の育児参加促進事業への取り組み－南静会

社会福祉法人南静会では、2007年7月、厚生労働省所管の財団法人21世紀職業財団北海道事務所より「男性の育児参加促進事業実施事業主」の指定を受け、男性職員の育児参加について、積極的なサポートを始めました。

少子高齢化社会を迎えた現代において、ライフスタイルの多様化や共働き世帯の増加といった社会情勢の変

化をふまえた、子育て環境の改善が急務となっています。南静会では職場全体で男性の育児参加を積極的に支援し、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを推進しています。職員のワーク・ライフ・バランスを大切に、少子化対策と男女共生社会の実現に貢献する取り組みとして、組織への浸透を図っています。

職場への子ども参観－菊水こまちの郷

2007年7月、社会福祉法人南静会が運営する地域密着型介護老人福祉施設菊水こまちの郷において、職員の子ども6名を招いて子ども参観日を実施しました。これは、仕事と家庭の両立が可能な職場づくりや、次世代を担う子どもたちの健やかな育成をめざす取り組みの一つで、厚生労働省の次世代育成支援対策推進法にも基づく、南静会初の試みでした。

参加した子どもたちは施設内をめぐりながら、初めて見るお父さん、お母さんの働く姿を真剣に見つめていました。また、職員も子どもたちの職場見学が働く励みになった様子でした。これからもこうした活動によって親子のコミュニケーションを深め、仕事と家庭の両立や仕事への意欲向上などを支援していく考えです。



ピッコロ保育園開設－西円山病院

西円山病院では、職員の子育て支援と働きやすい職場づくりの取り組みとして、2007年秋に、病院建物内に設置していた院内保育所を移転。病院東側に「西円山ピッコロ保育園」を新築しました。内部には幼児用と乳児用の保育室2室、遊戯室があり、子どもたちがのびのびと遊ぶスペースが確保されています。今回の新築では、「子どもからお年寄りまで心やすらぐ建物」であることをめざ

し、外壁のデザインには、公立大学法人札幌市立大学デザイン学部の学生さんにご協力をいただきました。

